



新・中期経営計画について

2013年 5月 22日

日本軽金属ホールディングス株式会社

前・中期経営計画 基本方針



1. 成長分野を攻めるユニットへの資源集中
2. 業界No.1ビジネスの強化
3. 中国、東南アジアを中心とする海外ビジネス展開加速
4. 要素技術複合化による用途開発と新商品の創出
5. アルミニウムの特性の追求による地球環境保全への貢献
6. 財務体質改善と復配
7. 人財育成
8. CSRとコーポレートガバナンス

成長分野への資源集中



<自動車>

ニッケイ・サイアム	冷間圧延機増設
日軽金アクト	中国、形材加工工場増強(日軽上海、日軽丛林)
日軽エムシーアルミ	中国、二次合金能力増強
化成品	触媒向けアルミナ

<電機・電子>

東洋アルミニウム	電極箔新製品投入
化成品	高純度アルミナ
熱交	タイ工場新設、増強

<環境・安全・エネルギー>

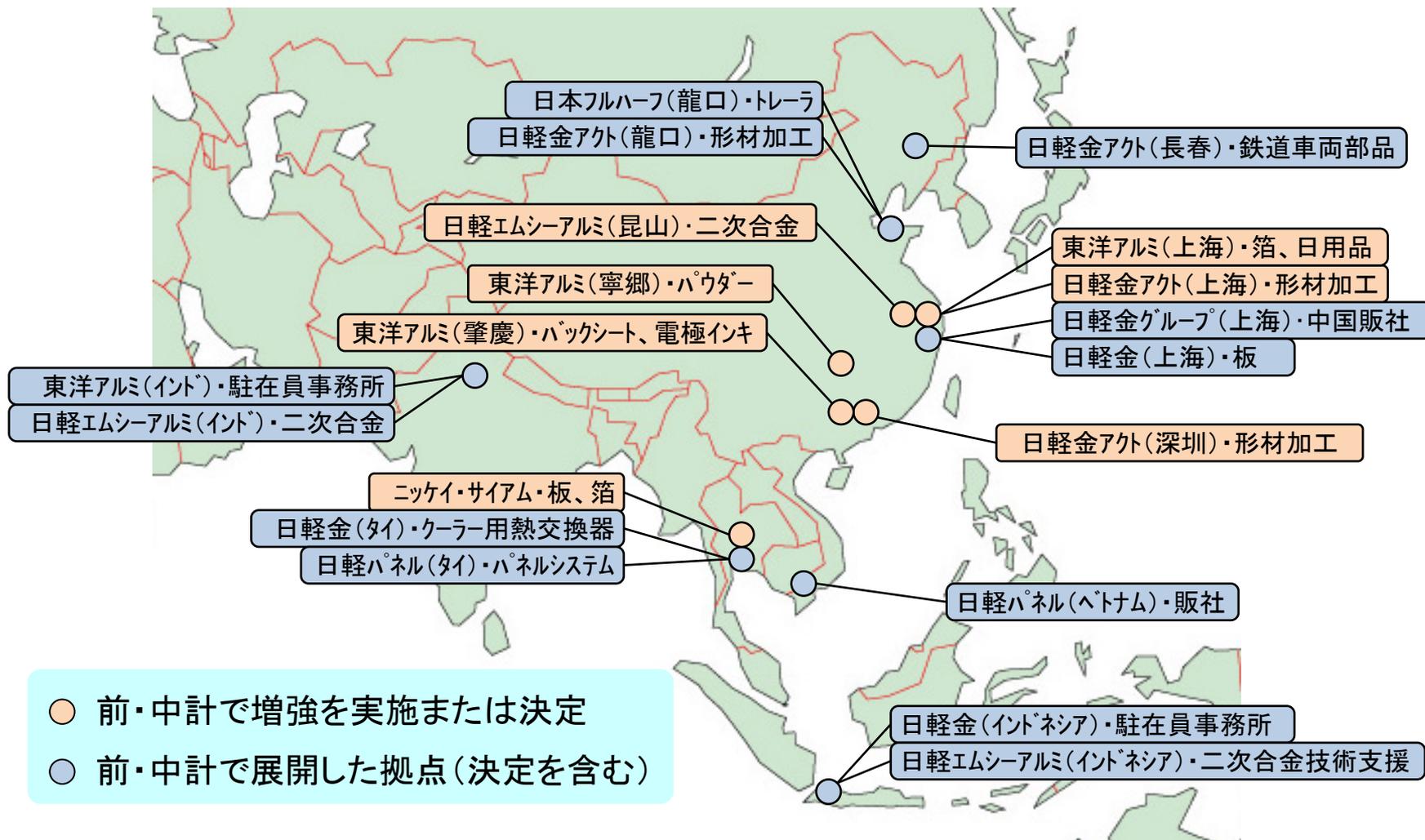
東洋アルミニウム	太陽電池用バックシート、電極インキ増強
グループ連携	太陽電池パネル架台

業界No. 1ビジネスの強化



事業部門	アクション
東洋アルミニウム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和アルミパウダー(株) 買収(2011年 4月) ・ サン・アルミニウム工業(株) 買収 ⇒ 品揃えの拡充・強化 ⇒ 拡販 (2012年 10月 新社名: 東洋アルミ千葉(株))
化成品(アルミナ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高付加価値製品拡販 ・ 原料転換完了(2012年 10月) ボーキサイト → 水酸化アルミニウム
日本フルハーフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温度管理車生産ライン整備 ・ サービス事業の展開強化 ・ 新商品開発
日軽パネルシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品開発
日本電極	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三菱商事(株)が資本参加(2012年 3月に40%) 原料安定調達、中国展開

海外展開の加速



新商品の創出



事業部門	商材	用途・需要先
化成品	高純度アルミナ 遷移アルミナ 特級次亜塩素酸ソーダ	LEDサファイア基板 自動車触媒担体 殺菌・消毒剤
メタル・素形材	自動車用アルミ電線	ハイブリッドカー、電気自動車
東洋アルミニウム	トータルカーボ トータルロータス コスミカラー、クロマシャイン	コンデンサ用箔 食品向け箔 干渉色アルミ(化粧品、容器、自動車)
日軽金アクト	プール用マクサス	使用済核燃料保管プール用
熱交・日軽金アクト	液冷システム	エレクトロニクス
日本電極	高靱性カーボンブロック	高炉用
NLMエカル	モジュール型データセンター	データセンター

主要指標



(億円)

	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2012年度 中計
売上高	4,294	4,030	3,719	4,300
営業利益	247	137	82	270
経常利益	185	97	69	200
当期純利益	110	29	34	120
海外売上高比率	18.7%	18.5%	16.8%	30.0%
期末有利子負債	1,908	1,877	1,888	1,970
ネットD/Eレシオ	1.5倍	1.5倍	1.5倍	1.4倍
R O C E	8.4%	4.9%	3.7%	9.1%

持株会社体制のもとでグループ連携を強化し、
連結収益の最大化を図る。

<基本方針>

1. 地域別×分野別戦略による事業展開

⇒資源投入する分野を地域と市場のマトリクスから選別。収益最大化を図る

2. 新商品・新ビジネスによる成長ドライバー創出

⇒顧客視点に立ったグループ連携による開発活動で高付加価値商品創出

3. 企業体質強化

⇒課題事業収益の早期回復とグループ人財の育成と有効活用

2015年度 数値目標



(億円)

	<2012年度>	<2015年度>
売上高	3,719	4,400
営業利益	82	250
経常利益	69	220
当期純利益	34	140
期末有利子負債	1,888	1,750
ネットD/Eレシオ	1.5倍	1.1倍
R O C E	3.7%	8.9%
海外売上高比率	16.8%	25.0%

<前提>

アルミ地金: 230 円/Kg

為替: 85 円/US\$

【地域別×分野別】市場予測

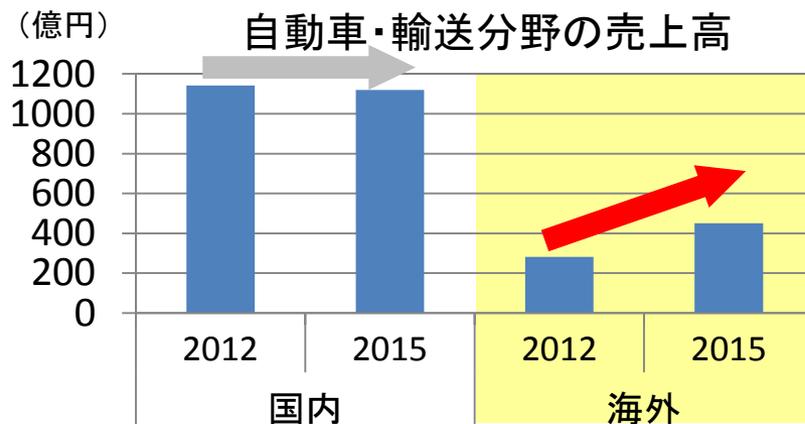


	日本	中国	ASEAN
自動車	▶ 海外生産シフト進展	▶ 生産規模拡大	▶ 生産規模拡大、China+1
電機・電子	▶ 日系メーカー不振	▶ ポリウムゾーン・中間層拡大	▶ 経済発展、生産拠点
情報通信	▶ データセンター増加	▶ 通信量増 ⇒インフラ整備需要	▶ 通信量増 ⇒インフラ整備需要
環境・安全・エネルギー	▶ 固定買取実施で太陽光	▶ 環境保全対策の強化・推進	▶ 再生可能エネルギー投資増
輸送	▶ 少子高齢化で徐々に縮小	▶ 軽量化・都市交通整備	▶ 高速鉄道整備拡大
食品・健康	▶ コンビニ、食品加工工場、低温倉庫増加	▶ 安全性・信頼性追求	▶ 流通サプライチェーンの整備
日用品・加工箔	▶ 少子高齢化で徐々に縮小	▶ ポリウムゾーン・中間層拡大	▶ ポリウムゾーン・中間層拡大
建材・建築、景観・公共	▶ 耐震需要・復興需要	▶ インフラ整備需要	▶ インフラ整備需要

【地域別×分野別】 自動車・輸送分野



	部門・会社	基本戦略
国内	板、日軽金アクト	鉄道車両向け材料、自動車部品の新製品投入
	日本フルハーフ	主力車種モデルチェンジ、サービス事業強化等によりNo. 1維持・強化
中国	日軽金アクト	日系メーカー向け足回り部品展開と欧米系メーカーへの拡販 鉄道車両部品強化
	日本フルハーフ	トレーラ拡販とトラック架装
ASEAN	ニッケイ・サイアム	名古屋工場、華峰日軽(中国)との連携強化により熱交材拡販
	日軽エムシーアルミ	二次合金、タイ第二工場検討
	日軽金アクト	形材加工、中国4拠点に続きタイでの加工拠点検討
	日本フルハーフ	タイでのトラック架装展開検討
その他	日軽エムシーアルミ	インド立ち上げと中南米での新拠点検討



ウイングーフ車
(日本フルハーフ)



足回り部品
(日軽金アクト)

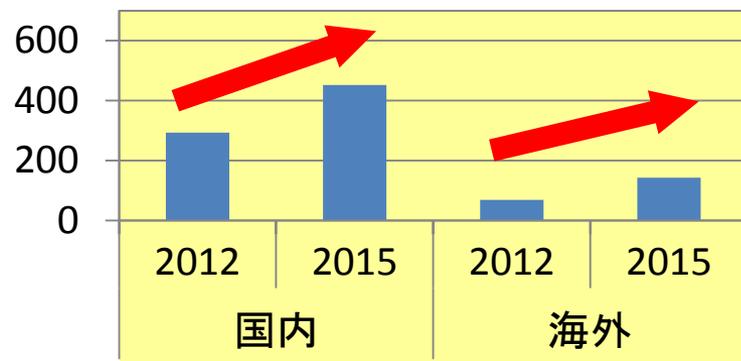
新・中期経営計画(2013-2015年度)の概要

【地域別×分野別】 電機・電子、情報・通信分野

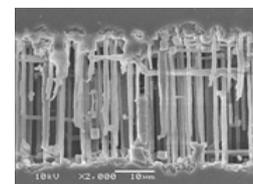


	部門・会社	製品	基本戦略
国内	東洋アルミニウム	電極箔	新製品拡販 ・トーヤルカーボ(低抵抗 ⇒ コンデンサ小型化) ・貫通箔・トーヤルパス(リチウムイオンキャパシタ) ・粉末積層箔(エッチング不要の電極箔)
ASEAN	サイアム・熱交	熱交換器	ルームエアコン用拡販
	日軽金アクト	形材加工	タイ新拠点検討 ・高付加価値合金押出材および加工製品の拡販(機械、自動車他)
その他	化成品	アルミナ	高付加価値品(高純度、微粒)拡販 ・LIBセパレータ材料

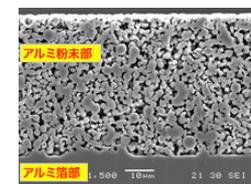
(億円) 電機・電子、情報・通信分野の売上高



トーヤルカーボ



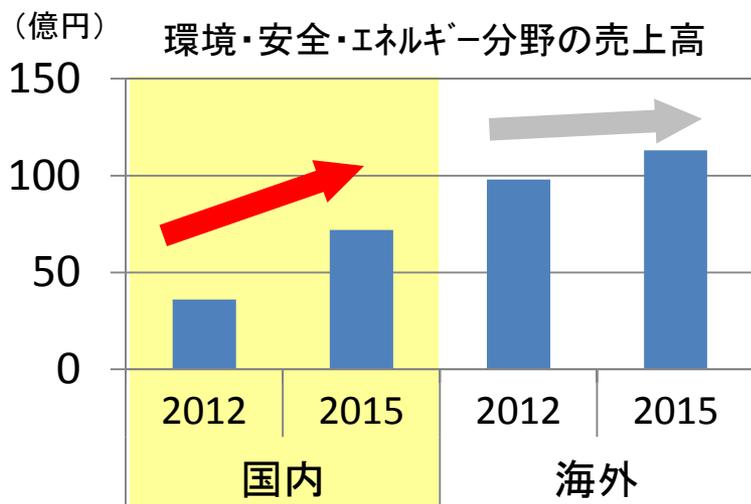
トーヤルパス
(断面顕微鏡写真)



粉末積層箔
(断面顕微鏡写真)



	部門・会社	製品	基本戦略
国内	板、日軽金アクト	板・加工	リチウムイオン電池筐体
	日本電極	黒鉛化处理	リチウムイオン電池負極材
	日軽金アクト、理研軽金属工業、NLMエカル他	形材加工	ソーラーパネル架台(アルソル、アルソルメガ)拡販
	NLMエカル	プラントパッケージ	再生可能エネルギー分野におけるパワーコンディショナー筐体拡販



アルソルメガ



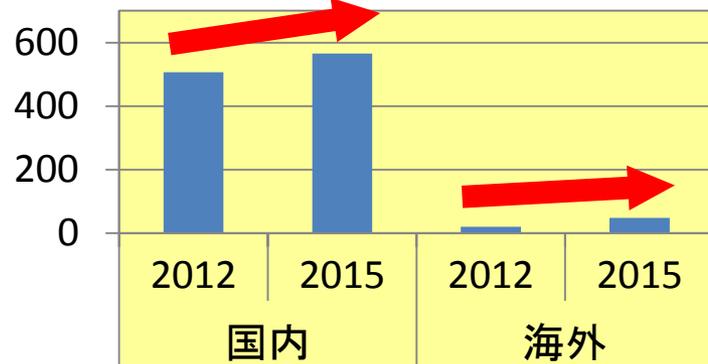
アルソルメガ施工例

【地域別×分野別】食品・健康・日用品



	部門・会社	製品	基本戦略
日本	東洋アルミニウム	加工箔・日用品	新製品開発と拡販 ・トータルロータス(撥水性蓋材) ・リードマックス(医薬包材バーコード化対応) ・紙容器(耐熱性、リサイクル性)
	日軽パネルシステム	パネル	品揃え拡充と新規事業立ち上げ ・高気密パネルシステム(バイオ・クリーンルーム) ・クリーンルーム耐震補強工事
中国	東洋アルミニウム	加工箔	コストダウンと拡販
A S E A N	日軽パネルシステム	パネル	現地ニーズにあった製品供給

(億円) 食品・健康・日用品分野の売上高



トータルロータス

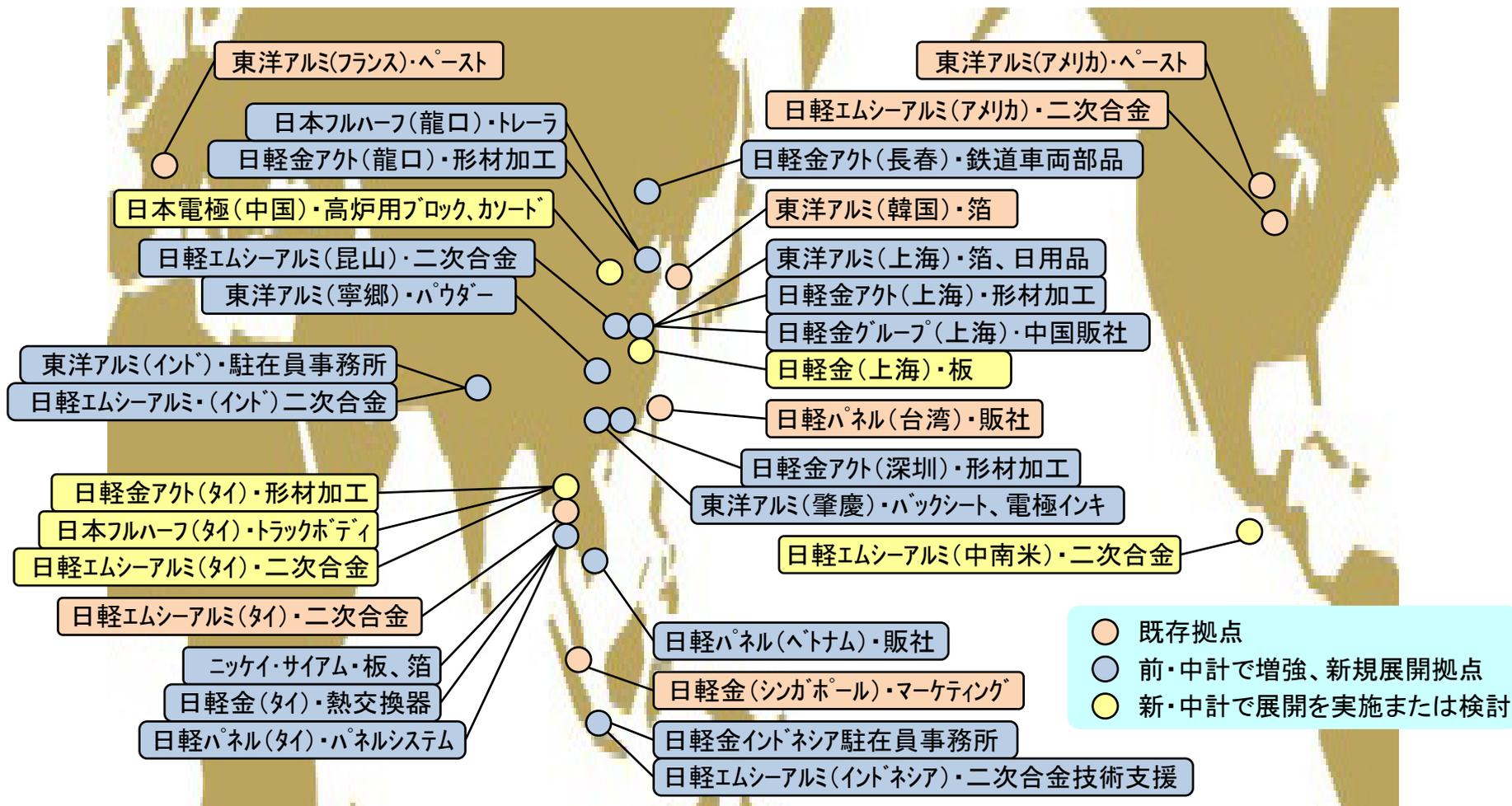


リードマックス



高気密パネルシステム
(バイオ・クリーンルーム)

【地域別×分野別】海外展開



【成長ドライバー創出】 新商品・新規事業



分野	事業部門	製品
自動車・輸送	メタル・素形材	自動車用アルミ電線
電機・電子	東洋アルミニウム	電極箔(トータルカーボ、トータルチタン、トータルパス、粉末積層箔)、LED用回路、リチウムイオン電池外装箔
情報・通信	日本フルハーフ NLMエカル	コンテナ型データセンター モジュール型データセンター
環境・安全・エネルギー	板、日軽金アクト 日本電極 日軽金アクト、理研軽金属工業、 NLMエカル他	リチウムイオン電池筐体 リチウムイオン電池負極材 ソーラーパネル架台(アルソル、アルソルメガ)
食品・健康	東洋アルミニウム	食品用撥水性包装材料(トータルロータス) 医薬品包材(リードマックス)



<アルミナ>

- ・高付加価値製品開発と増販

製品	主な用途
高純度アルミナ	LEDサファイア、リチウムイオン電池材料
遷移アルミナ	研磨材、触媒担体、リチウムイオン電池材料
低ソーダアルミナ	リチウムイオン電池材料
低ソーダ微粒水酸化アルミ	電子材料

- ・輸入水酸化アルミの用途展開とコストダウン

<板>

日本、中国、タイの生産3拠点連携による競争力強化

- 名古屋工場：品質、技術、人財のマザー工場へ
- 華峰日軽アルミ：中国自動車熱交製品市場取り込み
- ニッケイ・サイアム：成長するアセアン市場における中核拠点

<電子機能材>

生産・販売体制再構築とコストダウン

- ⇒ 中国での一貫体制構築を検討
- <材料調達から生産、販売、開発、サービスまで>

【企業体質の強化】 人財の育成と有効活用



グループ各社の基幹社員に対し計画的に育成プログラムを実施

⇒ 日軽金グループの将来のマネジメントを担う人財を育成

・経営次世代研修

⇒ 経営次世代に対する経営能力スキルアップのための教育・研修

・グループ経営 ・リーダーシップ ・NPS手法 ・語学 etc.

・海外事業所での実務研修

⇒ グループ海外拠点のみならず、他社海外拠点、海外サプライヤーなどでの海外勤務を経験

・階層別グループ人財育成

⇒ 25～35歳のグループ人財に対する各種社内研修や外部研修への派遣

・女性社員研修

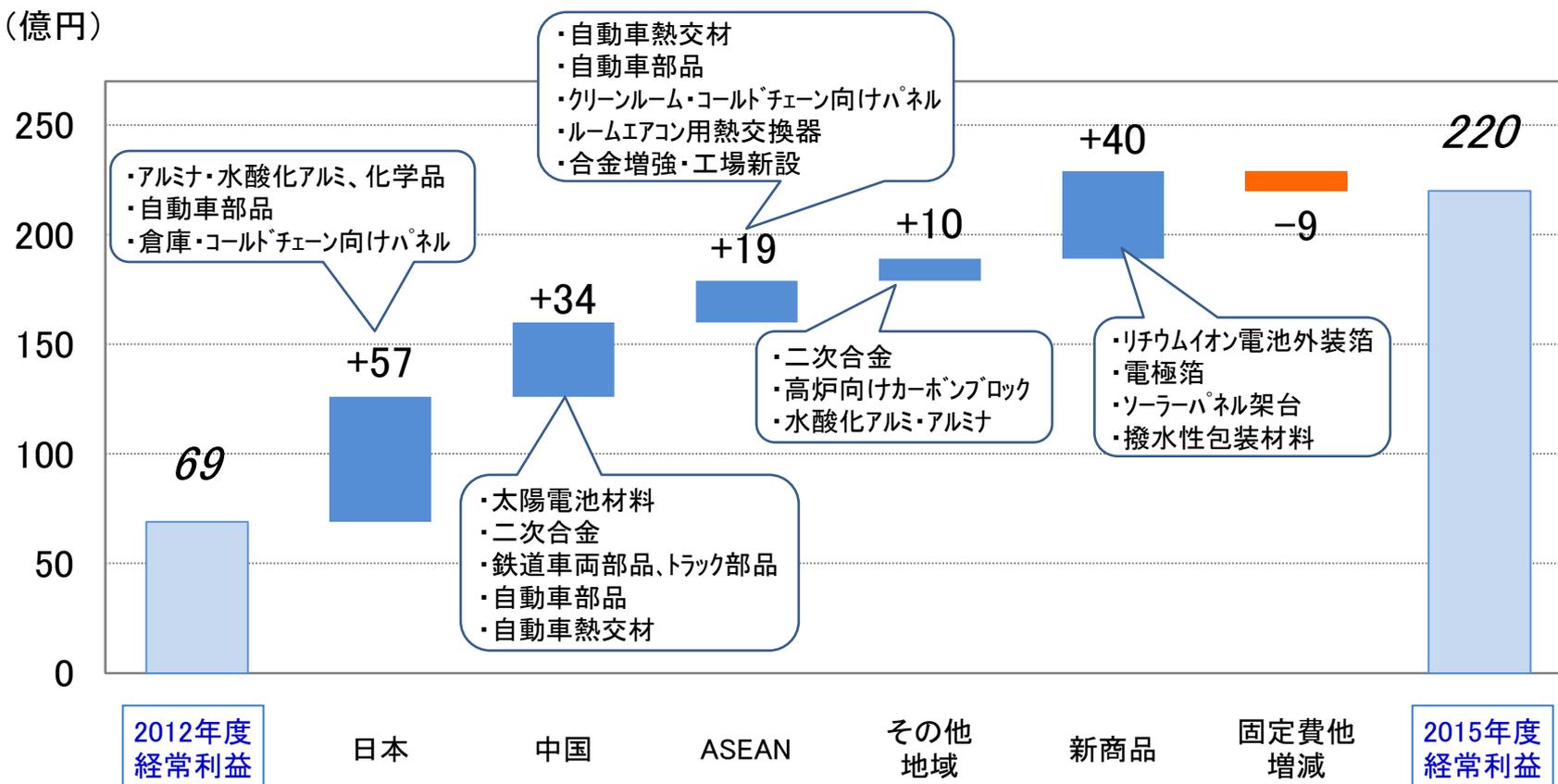
⇒ 女性社員の一層の活用を図るため、男性上司を含めた意識改革研修

経常利益変化要因 - 3ヶ年



2012年度 +69億円 ⇒ 2015年度 +220億円 151億円増加

(億円)

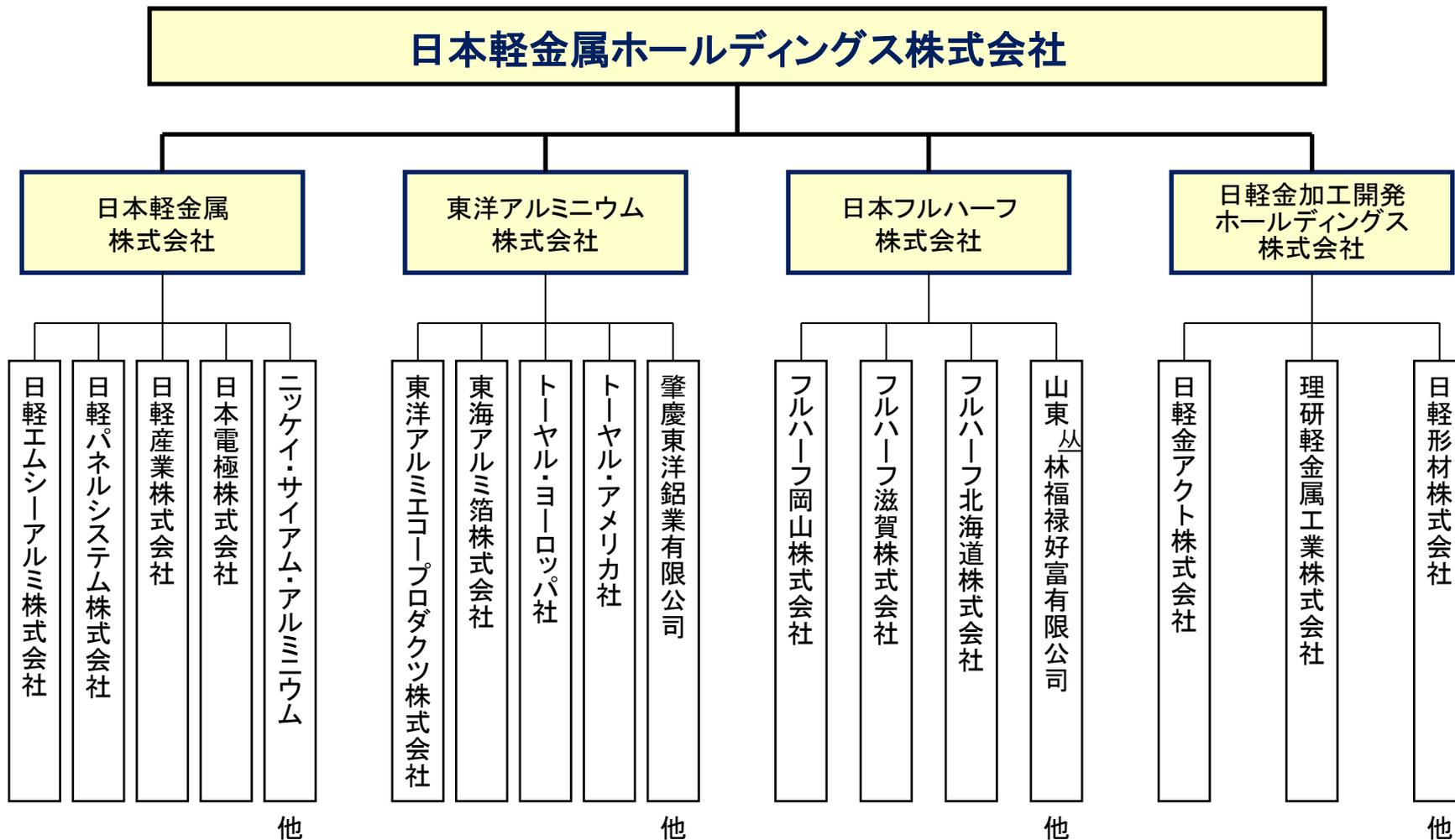


本資料についての注意事項

1. 本資料は2014年3月期以降の当社グループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

補足資料

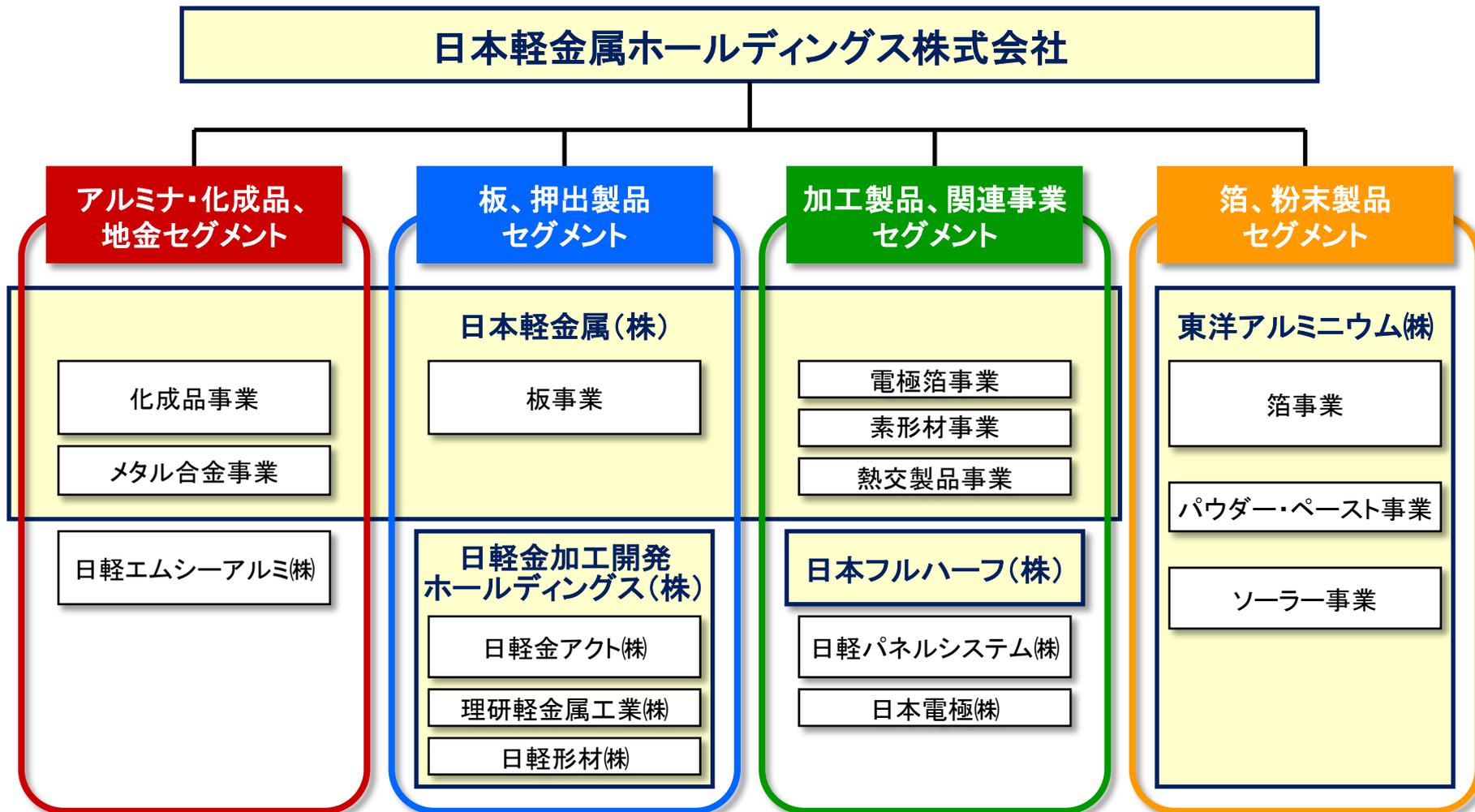
日本軽金属グループ概要



日本軽金属グループ概要



日本軽金属ホールディングス株式会社



設備投資および減価償却費

